

## 第12回大宮区民会議 議事録

1. 日時 平成30年9月21日(金) 10時00分～12時00分

2. 会場 大宮区役所1階多目的室

3. 出席者 19名

(委員) 12名

花俣淳一会長、池上明彦副会長、横山千恵子副会長

大野敏子委員、齋藤泰雄委員、仙石玲委員、武田千春委員、登坂篤委員、

星野美子委員、松岡忠男委員、松本よしの委員、村上隆子委員

(欠席委員) 6名

新井陽子委員、井上恵美子委員、小倉京子委員、田代秀一委員、野瀬加代子委員、

藤田信一委員

(オブザーバー) 1名

阿久津(副区長)

(事務局) 4名

佐藤(コミュニティ課長)

粕谷、佐伯、加藤(コミュニティ課)

(コンサルタント) 2名

森、白木(㈱社会構想研究所)

### 4. 内容

#### (1) 開会

#### (2) 協議事項

「大宮の将来に向かって～区民が求める公共用地の活用～」に資する事例調査について

- \* 第11回会議で各委員から提案された公共用地活用のイメージをさらにブラッシュアップし、充実させるため、先行事例と考えられる東京都豊島区池袋地域について、区の担当部署から開発方針・手法等に関するお話を伺い、あわせて公共用地の活用事例(①新区役所庁舎および南池袋公園周辺、②旧庁舎・豊島公会堂＝中池袋公園リニューアルの現況、③防災公園を軸とした再開発が計画されている東口サンシャインに隣接した造幣局跡地の現況)の視察・見学を行うことを決定し、当日のスケジュールを確認した。

#### \* 主な意見

- ①大宮区に必要な公共機能、また各施設(社会資源や観光資源)間の連担性が重要であることについてはこれまでの議論の中で明確にされてきた。今後はそれをひとつにまとめあげ、方向性を具体的に示す「コンセプト」を練り上げていくことが必要となるだろう。その意味で、池袋地域をめぐる豊島区の「アート都市構想実現戦略」は参考とするに値する先行事例と考えられる。

②大宮の文化を伝承するスポットとして人の流れと結節点を創り出すという観点から考えれば、「氷川の杜」の活用にもっと着目してもよいと思う。

\* 10月17日事例調査当日のスケジュール

- ① 12時15分 大宮区役所1階多目的室に集合、参考資料等の配布
- ② 12時30分 貸切バスにて豊島区役所に出発
- ③ 13時15分 豊島区役所到着
- ④ 13時30分～14時30分 担当部署の池袋再開発(計画と現況)に関する説明・質疑
- ⑤ 14時30分～15時 区庁舎内・南池袋公園見学
- ⑥ 15時～15時30分 造幣局地区防災公園予定地周辺見学
- ⑦ 15時30分～16時 旧庁舎跡地・中池袋公園見学
- ⑧ 16時 旧庁舎跡地出発(希望者は現地解散)
- ⑨ 17時 大宮区役所着、解散

(3)報告事項

- ①区民会議だより発行  
10月に発行される区民会議だより(第31号)について。
- ②2018大宮区民ふれあいフェア(10月17日)への参加について  
10月27日(土)に開催される、大宮区区民ふれあいフェアにおける区民会議ブースの手伝いを担当する委員として、花俣会長と松本委員(午前)、池上副会長と登坂委員(午後)が選出された。
- ③次回区民会議(豊島区役所視察)の出欠について  
\*本日の欠席者については後日、事務局が確認
- ④平成31年2月第16回区民会議(区長への提言)の日程変更について  
2月20日(水)→2月27日(水)14時(3階特別会議室)に変更

以 上